

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
公民 現代社会	普通科1年 工業科1年 商業科1年	2	現代社会（東京書籍）	最新現代社会資料集2020（第一学習社） 高校生のためのふるさと富山 （富山県教育委員会）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上のさまざまな問題と人間の活動とのかかわりについて理解させる。</li> <li>人生の中で青年期が持つ意味を捉え、自立するために何をしたらよいか考えさせる。</li> <li>日本国憲法下の基本的人権と国の政治のしくみを理解させ、民主政治を実現していくための課題について考えさせる。</li> <li>経済活動の高度化による課題を考えさせ、政府の財政政策・金融政策のしくみを理解させる。</li> <li>労働基本権と労働環境の改善、消費者問題の現状について考えさせる。</li> <li>グローバル化する国際社会の中の日本の役割を考えさせる。</li> </ul>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	1 現代に生きるわたしたちの課題	地球環境と資源・エネルギー	・現代社会の諸問題の中から自ら課題を設定し、課題に関する情報を収集・整理し、発表することができる。	
	2 現代の社会と人間 (1) 青年期と自己形成の課題  (2) 日本国憲法と民主政治  (ふるさと富山)	現代社会と青年の生き方 よりよく生きることを求めて  民主政治とは 日本国憲法の基本原理 日本の政治機構 現代政治の特質と課題	・青年期の意義と自らの進路や職業などの課題と青年期のあり方について考えることができる。  ・日本国憲法の基本原理を国民生活との関係から理解し、民主政治における個人と国家について理解できる。  ・1学期学習内容と関連させる	
2	(3) 個人の尊重と法の支配 (4) 現代の経済と国民福祉  (ふるさと富山)	個人の尊重と法の支配 経済のしくみ  変化する日本経済 豊かな生活の実現	・人間の尊厳と平等、法と規範などについて考え、民主社会において自ら生きる倫理の自覚をめざす。 ・現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割、租税、金融機関の働きなどについて理解できる。 ・日本の財政の課題は何かを理解できる。  ・2学期学習内容と関連させる。	
3	(5) 国際社会と人類の課題  3 ともに生きる社会をめざして  (ふるさと富山)	国際社会の現状と課題  国際政治のしくみと動向  持続可能な社会をめざして	・労働基本権と労働環境の改善、消費者問題の現状について考えることができる。 ・グローバル化する国際社会の中の日本の役割を考えることができる。  ・生徒が自らの公民的資質の育成・向上を図ることができる。  ・3学期学習内容と関連させる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史A	普通科2年 工業科2年 商業科2年	2	新版世界史A 新訂版 (実教出版)	ダイアログ世界史図表 新版三訂(第一学習社)
科目の概要 と目標	<p>1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。</p> <p>2 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。</p> <p>3 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	世界史へのいざない (Ⅰ) ユーラシアの諸文明 1 ユーラシアの諸文明と交流  (Ⅱ) 一体化する世界と日本 2 一体化に向かう世界と日本	人類の誕生と文明の発生、東アジア世界の形成、東アジア世界の展開、東アジア世界の発展、モンゴル帝国と元、南アジア世界の形成、南アジア世界の展開、東南アジア世界の成立、オリエント世界の統一、地中海世界の形成、キリスト教の成立と発展、イスラームの成立、イスラーム帝国の分裂と多様化、ヨーロッパ世界の形成、ヨーロッパ世界の展開 ルネサンスと宗教改革、大航海時代、絶対王政の時代、西ヨーロッパ諸国の展開、東ヨーロッパ諸国の展開、近代ヨーロッパと世界貿易、イスラーム諸王朝の成熟、オスマン帝国とヨーロッパ、明から清へ	地球の誕生や人類の誕生の変遷、四大文明と現在の文化の関連性を理解することができる。 殷から清までの中国王朝を、漢民族と遊牧騎馬民族との関係に留意しながらそれぞれの変遷を考察し、風土と生活、言語・文字、思想などの視点を通して東アジアの世界を理解する。 厳しい自然環境の下でいろいろな宗教の成立を考察し、それを基礎とした社会制度が確立することで一つの社会が形成される過程を理解する。 キリスト教から成立した社会を考察するとともに、中世ヨーロッパ封建社会の動向について理解する。	
2	3 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界変動  (Ⅲ) 地球社会と日本 4 現代世界のあゆみ	産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオンとウィーン体制、1848年の革命、19世紀後半のイギリスとフランス、19世紀後半のイタリアとドイツ、東方問題と19世紀のロシア、19世紀のアメリカ合衆国、西アジアの変動、南アジアの変動、東南アジアの変動、中華帝国の動揺、明治維新と東アジア、東アジアの変革急変する社会、帝国主義と世界分割、ヨーロッパ国際関係の緊張、第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制と国際連盟、戦間期の欧米と日本、西アジア・インドの民族運動、東アジアの民族運動、世界恐慌とニューディール、ヒトラーとムッソリーニ、満州事変から日中戦争へ、ヨーロッパでの戦争、アジア・太平洋戦争	新航路の開拓以後、世界の一体化が進み、植民地が形成されるようになったことを理解する。 イギリス・アメリカ・フランスの市民革命の過程と産業革命後の資本主義成立が諸国に与えた影響を理解する。 18世紀後期から19世紀までのヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成の進行を理解し、その知識を身につけるとともに、これらを考察・比較して、その過程や結果を適切に表現することができる。帝国主義列強による世界分割と各国の変貌を、地図や図版を利用して、視覚的に捉えることができる。2つの世界対戦の経緯と現代の戦争の具体的な姿について考察することができる。	
3	5 第二次世界大戦後の世界  主題学習	国際連合と冷戦、ヨーロッパとアジアの冷戦、アジア諸国の独立、第三勢力の結集、多極化する世界、冷戦の終結と社会主義の変容、冷戦後の世界、21世紀の世界、模擬国連をやってみよう	東西冷戦や多極化、戦後世界の動向を考察することができる。 冷戦終結後の地域紛争の実例を取り上げ考察し、今後の全人類の課題について、解決方法をふまえて考察することができる。 環境、世界平和・安全など全人類の課題について考察し、国際的な交流と強調の必要性について理解する。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史B	普通科 2年	4	世界史B（東京書籍）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 世界史 重要語句チェックリスト（啓隆社） 高校生のためのふるさと富山（富山県教育委員会）
科目の概要 と目標	<p>1 四大文明の起源を知り、その後の古代国家の成立、発展の過程を把握する。また前近代においては各地域における信仰が国家と密接な関係を持ち、歴史的展開にも重要な役割を担っていたことを認識する。</p> <p>2 地域ごとの歴史展開を把握しながらも、各時代において地域を超えた交渉があったことを経済や文化の視点を主眼として学習する。</p> <p>3 後進的なヨーロッパ世界がキリスト教布教とともに拡大していった様子を学ぶとともに、宗教改革やルネサンスなどがキリスト教世界から起こり、近代社会を生み出す基盤となったことを認識させる。</p> <p>4 身近な郷土の歴史を世界における日本の様子と関連づけて理解を促す。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	文明以前の人類 オリエント世界と東 地中海世界	人類の登場 地域文化の形成 オリエント世界の成立 オリエント世界の展開 ギリシア世界 ヘレニズム世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の進化の過程や文明の成立について関心を持つようにさせる。</li> <li>・メソポタミアとエジプトの文明が生み出した様々な国家の興亡について整理し、把握できるようにする。</li> <li>・ギリシアとローマの文明の形成と政治的変遷について共通点、相違点などを見出すことができるようにする。</li> <li>・ローマ帝国の興亡を戦争や奴隷制と関連付けて説明できるようにする。</li> <li>・インダス文明について概要を把握できるようにするとともにインド社会と宗教のかかわりに注目しながら歴史的展開を説明できるようにする。</li> <li>・黄河文明の成立から唐にいたるまでの王朝の興亡を政治制度、経済状況、周辺諸民族の動向などに着目しながら正確に答えられるようにする。</li> </ul>	
	地中海世界と西アジ ア	都市国家から世界帝国へ ローマ帝国 の繁栄 古代末期の世界と地中海世界 の解体 地中海世界と西アジア		
	南アジア世界	南アジアにおける文明の成立と国家形 成 インド世界の形成		
	東アジア世界	東アジアにめばえた文明 中華帝国の 誕生 東方の世界帝国		
	高校生のためのふる さと富山	随時、世界史で学習したことに絡めて 内容に触れる。		
2	内陸ユーラシア世界	騎馬遊牧民国家の興亡 草原地帯のト ルコ化とイスラーム化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西の文明交流や経済面での結びつきに着目し、また中国やヨーロッパの情勢と関係づけて、その興亡を説明できるようにする。</li> <li>・インドや中国の歴史との関連性において東南アジアにおける歴史文化遺産を説明できるようにする。またアフリカや古代アメリカについてはのちの時代の伏線として概略を把握できるようにする。</li> <li>・イスラームの教義の特色をふまえたうえで、アジアの様々なイスラーム王朝の興亡を整理して把握できるようにする。またイスラーム文明が世界史において果たした役割についても概要を把握させる。</li> <li>・科挙官僚を支配層とする中国社会の成立過程をふまえて、周辺諸民族との抗争を通じた五代・宋以降の王朝興亡を説明できるようにする。</li> <li>・東ヨーロッパ世界の特徴をビザンツ帝国とスラブ人の動向を中心に把握できるようにし、基本的知識を習得させる。</li> <li>・西ヨーロッパ世界の形成におけるローマカトリック教会の役割に注目しながら、中世ヨーロッパの封建社会の成立と変容について説明できるようにする。</li> </ul>	
	東南アジア世界 アフリカ、オセア ニア、古アメリカの 地域世界	海の道の形成と東南アジア 東南アジ ア諸国家の再編成 アフリカ オセア ニア 古アメリカ		
	イスラーム世界の形 成	イスラーム世界の成立 イスラーム世 界の発展 イスラーム文明		
	ヨーロッパ世界の形 成	東ヨーロッパ 西ヨーロッパ中世世界 の成立 封建社会と都市 カトリック教会と十字軍 中世ヨーロ ッパ文化 中世的世界の動揺 ルネサ ンス		
	東アジア世界の変容 とモンゴル帝国	唐の崩壊後の東アジア 宋代の新展開 ユーラシア帝国をおおうモンゴル帝国 元朝の成立		
高校生のためのふる さと富山	随時、世界史で学習したことに絡めて 内容に触れる。			
3	海域世界の発展	三つの海域世界の成立 海と陸の結合 東南アジア世界の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴル、イラン、トルコ系諸民族による各王朝の興亡を整理して把握できるようにするとともに、それらがユーラシア諸地域の交流と再編に果たした役割について説明できるようにする。</li> <li>・明・清時代の儒教体制による政治制度の整備と経済および文化の繁栄について、ヨーロッパに与えた影響などもふまえながら具体的な事例をあげられるようにする。</li> <li>・プロテスタントの思想的特色を従来のローマ＝カトリックと対比して理解できるようにするとともに、ヨーロッパのアジア・アメリカへの進出について宗教改革の影響が絡んでいることをふまえて事例をあげられるようにする。</li> <li>・ヨーロッパに絶対主義による主権国家に基づいた国際社会が成立した経緯を把握したうえで、16～18世紀のヨーロッパで戦争が絶えなかった理由を政治体制、経済的事情、宗教対立などの面からそれぞれ説明できるようにする。</li> </ul>	
	大交易時代	アジア交易世界の再編と活況 海洋帝国の出現 大交易時代の世界		
	ユーラシア諸帝国の 繁栄	イランと中央アジアの繁栄 東地中海 の強国＝オスマン帝国 インドの大国 ＝ムガル帝国 明と東アジア世界 清と東アジア世界		
	近世のヨーロッパ	主権国家群の形成と宗教改革 オランダの繁栄と英仏の追いあげ 18 世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家、近 世ヨーロッパ社会と文化		
	高校生のためのふる さと富山	随時、世界史で学習したことに絡めて 内容に触れる		

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史B	普通科 3学年	3	世界史B（東京書籍）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 世界史B用語集（山川出版社） 世界史重要語句チェックリスト（啓隆社）
科目の概要 と目標	<p>1. 近代市民社会の目覚めとなるアメリカ独立戦争とフランス革命の歴史的背景を理解し、近代市民社会における民主主義発祥の過程を理解する。</p> <p>2. ヨーロッパ社会が帝国主義を推進していくなかで、非ヨーロッパ社会を植民地化していく過程を理解する。そして帝国主義の対立が世界大戦へと向かっていったことを知る。</p> <p>3. 冷戦が解消された後に、吹き出てきた民族紛争の問題をその民族の歴史的背景をふまえて理解することで世界史のまとめとする。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	欧米における工業化と国民国家の形成  産業資本主義の発展と帝国主義  アジア諸地域の 変革運動	2年次学習内容の復習  激化する経済覇権抗争 工業化による経済成長と社会問題の発生 合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 フランス革命とウィーン体制 自由主義の台頭と新しい革命の波  イギリスの覇権とヨーロッパ諸国 南北アメリカの発展 第2次産業革命と社会生活の変化 植民地獲得競争と動揺する世界秩序  西アジアの改革運動 南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明 清の動揺と変貌する東アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代史を理解する下地として前近代史の内容を完成させる。</li> <li>・18世紀後半にイギリスの覇権が確立した経緯を理解するとともにその理由を政治、経済などの様々な側面から考察する姿勢を培う。また近代資本主義社会が抱える矛盾について当時の世界におこった歴史的的事象を通じて認識を深める。</li> <li>・ヨーロッパによる侵略を受ける前のアジア諸国の様子を概観するとともに、それらの国々の前近代的な社会体制が植民地支配の対象にされるにいたった理由を説明できるようにする。</li> <li>・産業革命後のヨーロッパと他の地域との経済的なつながりから帝国主義政策がとられた背景を理解し、ナショナリズムや社会主義運動などとの関係についても説明できるようにする。</li> </ul>	
2	世界戦争の時代  戦後世界秩序の形成	第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 大戦後の合衆国とヨーロッパ アジア・アフリカでの国家形成の動き 世界恐慌と国際対立の激化 第二次世界大戦  冷戦の形成と展開 植民地の独立と世界政治 東アジアの「熱い戦争」と経済発展 合衆国の覇権の動揺と再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパを中心とした世界の一体化と世界大戦のとの関係について、ナショナリズムの問題に触れながら説明できるようにする。</li> <li>・ナショナリズムや社会主義革命の影響をふまえて、ファシズムが台頭した経緯をドイツを中心とした視点から捉えられるようにし、またこれに対抗する形でのアメリカを中心とした国際政治について、その流れを述べるができるようにする。</li> <li>・国際連盟が第二次世界大戦の勃発を防止できなかった原因を追究し、現在の国際連合が設立された経緯と問題点について認識を深める。</li> <li>・1960年代からの国際政治の多極化について、第三世界や米ソそれぞれの陣営における独自路線の動きをとる国々の動向を事例として背景となる要因を説明できるようにする。</li> </ul>	
3	情報革命と世界経済の一体化	情報革命とグローバル化 冷戦の終結と新たな世界秩序 21世紀の地球的課題と地域世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次における「現代社会」での既習事項と結びつけることができるようにする。</li> <li>・現代世界の諸課題について、歴史的観点から概略を把握できるようにする。</li> </ul>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史A	普通科2年 工業科3年 商業科3年	2	高等学校改訂版日本史A 人・くらし・未来(第一学習社)	プロムナード日本史(浜島書店)
科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕末期の政治的変遷の様子を様々な政治運動の動向に注目しながら理解する。</li> <li>日本における立憲国家の成立過程とその特色について、富国強兵政策の内容と自由民権運動の盛衰を視点に据えながら理解する。</li> <li>日清戦争から第二次世界大戦に至るまでの植民地支配と経済および国民生活の様子について、相互の關係に着目しながらその変遷を学習する。</li> <li>日本国憲法と戦後体制の成立過程を学ぶとともに、憲法の理念と国際協調との間で生じた新たな問題について、その内容を理解し、解決の方法を考察する姿勢を培う。</li> </ul>			
科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>近代日本において成立し、現代に連なる政治・経済・文化の営みについて、先人の取り組みを学び、残された課題を自身の問題として考察する姿勢を培う。</li> <li>政治、経済、文化の各分野における問題が相互に関連していたことを理解しながら、近代以降の日本の歴史が常に国際社会の影響を受けて変遷していたことを学ぶ。</li> </ol>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	1 私たちの時代と歴史 2 近現代の日本と世界  (1) 近代国家の形成と国際關係の推移	近現代学習のはじめに  近代への胎動  開国と幕末の動乱  近代国家の形成  国際關係の推移と近代産業の発展	<p>鎖国に至った背景を世界情勢や幕藩体制構築との關係から説明できるようにする。</p> <p>欧米のアジア侵略とともに国内における経済発展や思想・文化の動向をふまえたうえで、開国の過程を述べるができるようにする。</p> <p>様々な勢力や政治運動について、共通点と相違点をふまえたうえで、倒幕へと至った経緯が理解できるようにする。</p> <p>自由民権運動の盛衰を政府による立憲国家樹立の動きと絡めて説明できるようにする。</p> <p>当時の近代産業による資本主義体制の樹立が、侵略戦争による植民地支配とも深く関与していたことを認識できるようにする。</p>	
2	(2) 両大戦をめぐる国際情勢	第一次世界大戦と日本  第二次世界大戦と日本	<p>経済発展による国民生活の向上と民衆の政治運動への参加および政党政治の成立との關係を具体的な歴史事象をあげて説明できるようにする。</p> <p>第一次世界大戦に参戦した目的を当時の国内および海外情勢に照らして説明できるようにする。</p> <p>戦争の長期化や敗戦必至の状況に突入することを防止できなかった原因と終戦決定の遅れが生じた背景について、政治・社会体制と絡めて考察する姿勢を持たせる。</p>	
3	(3) 現代の日本と世界	日本の再出発  独立後の政治と経済の発展  現代の日本と世界	<p>戦後の民主的改革と経済復興にいたる変遷について、米ソの冷戦を基軸とした国際政治の視点から説明できるようにする。</p> <p>独立後の日本における政治や経済について、日本国憲法と米国を中心とする国際社会の観点から理解できるようにする。</p>	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史B	普通科 2学年	4	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)	詳説日本史図録 (山川出版社) 日本史 重要語句 Check List 2020 (啓隆社) 新日本史研究ノート (啓隆社)
科目の概要 と目標	<p>○古代日本人の生活、信仰、文化を理解するとともに、大陸との交渉を通しての影響の重要性を把握する。</p> <p>○中央政府のあった京都から地方への政治、経済、文化の広まりと成長が、今日の日本の土台となっていることを理解する。</p> <p>○今日の町や村の土台となった地域の形成、戦国大名による地方の国別支配、ヨーロッパ人の来航と新文化の伝来、豊臣秀吉の全国統一を理解する。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの  第2章 律令国家の形成	文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権  飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成	<p>○日本における最初の文化とその形成過程、大陸との交渉と文化の伝来について理解できる。</p> <p>○国内を統一した政権、大陸との外交関係、聖徳太子の政治と最初の仏教文化について理解できる。</p> <p>○隋・唐の律令制の導入と日本的社会の形成、唐の清新な文化の輸入について理解できる。</p> <p>○律令政治の発展と農民の負担増大の様子、大仏造立と鎮護国家思想、荘園の成立について理解できる。</p>	
2	第3章 貴族政治と国風文化  第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	<p>摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士</p> <p>院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化</p>	<p>○平安京(京都)の形成、天台・真言両宗の発展とその文化、藤原氏の摂関政治とその文化について理解できる。</p> <p>○私有地(荘園)の増大と中央・地方武士団の成長、院政の様子、平清盛の政治と文化について理解できる。</p> <p>○源頼朝の創った武家政権(幕府)、北条氏の執権政治、新旧仏教の鎌倉文化、元寇と幕府の衰退について理解できる。</p>	
3	第5章 武家社会の成長  第Ⅲ部 第6章 幕藩体制の確立	<p>室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場</p> <p>織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造</p>	<p>○後醍醐天皇と足利尊氏の争い、室町幕府の政治、自治村の成長、明との朝貢貿易と朝鮮・琉球・蝦夷への貿易政策について理解できる。</p> <p>○禅宗による文化の形成と戦国の動乱による文化の地方分散について理解できる。</p> <p>○ヨーロッパ人の来航と鉄砲、キリスト教の伝来について理解できる。</p> <p>○天下統一者である織田信長、豊臣秀吉の政治と文化について理解できる。</p>	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史 B	普通科 3 学年	3	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)	詳説日本史図録 (山川出版社)、 日本史 重要語句 Check List 2019 新日本史研究ノート【標準編】(啓隆社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制化の江戸時代の政治、経済、社会、文化の諸相と、それらの歴史的推移・変容を理解させる。</li> <li>ヨーロッパ帝国主義諸国のアジアへの波及、明治新政府による近代国家の形成、資本主義経済と大陸侵略の経過、第一次世界大戦と大正デモクラシー、大衆文化の成熟、世界恐慌と日中戦争・第二次世界大戦の流れを理解させる。</li> <li>第二次世界大戦後の民主化政策と国際社会への復帰、高度経済成長と国際関係の多様化、日本の国内外の課題について把握させる。</li> </ul>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第Ⅲ部 近世 第7章 幕藩体制の展開	幕政の安定 経済の発展 元禄文化	儒学各派の思想と当時の政治・文化との関連を理解できる。	
	第8章 幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代化への道 化政文化	三大改革の政治・社会的原因を述べられる。 庶民文化の様相、時代が生んだ新思想の形成を理解できる。	
	第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争	開国後の国内情勢の推移と幕府の滅亡の過程が理解できる。 明治新政府の成立過程、西洋文化の摂取、憲法と議会による政治の成立過程が理解できる。	
2		日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達	日本における資本主義の成立、対外戦争との関わり、新時代の和洋両文化が理解できる。	
	第10章 二つの世界大戦とアジア	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	帝国主義列強の一員としての動向、大正デモクラシーの様子、大衆文化の内容が理解できる。 1920年代の慢性的恐慌の経過と十五年戦争およびその戦時体制について具体的に説明できる。	
	第11章 占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講話	民主化政策(新憲法の制定など)、戦後の経済復興等について理解できる。	
	第12章 高度成長の時代	55年体制 経済復興から高度成長へ	国際社会への復帰、高度成長から低成長の時代への移行について理解できる。	
3	第13章 激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦終結と日本社会の変容	国際化の諸相を理解するとともに、現代の国際社会における日本の役割を認識できる。	
	まとめ	学習のまとめ	2年間の学習を振り返り、総まとめができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理A	普通科・2年 工業科・3年 商業科・3年	2	高等学校新地理A（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	図説地理資料世界の諸地域NOW （帝国書院）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図に関する基本的知識と地図の活用について理解させる。</li> <li>・ 各種の地形の特色を理解させ、それが人間生活に果たしている役割と意味を考えさせる。</li> <li>・ 世界の気候区の特色を理解させ、人間生活との関係について考察させる。</li> <li>・ 世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を理解させる。</li> <li>・ 世界の主なエネルギー・鉱産資源の特徴を理解させる。</li> </ul>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	地球儀や地図からとらえる現代社会	地球上の位置 経度の違いと時差 球面と平面の世界 国家の領域と国境 日本の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな図法の特色を理解できる。</li> <li>・ 時差のしくみを理解し、実生活に生かすことができる。</li> <li>・ 地形図の基本的な利用技術を身につける。</li> </ul>	
	人間生活を取り巻く環境	世界の大地形と人々の生活 山地・平野の地形と人々の生活 その他の地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地形と人間生活との関係について具体的に考えることができる。</li> </ul>	
	グローバル化が進む世界	世界を結ぶ交通・通信 拡大する世界の貿易	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代世界のグローバル化の実態を具体的に捉える。</li> </ul>	
2	人間生活を取り巻く環境	生活と気候のかかわり 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 人々の生活と産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気候環境が人間活動に及ぼす影響について考えることができる。</li> <li>・ ケッペンの気候区分の概要を理解する。</li> <li>・ 世界の多様な気候と文化の違いを具体的にイメージすることができる。</li> </ul>	
	世界の諸地域の生活・文化	中国、インド、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業形態の地域分化を理解できる。</li> <li>・ 食料問題の現状を知り、その解決策を考える。</li> </ul>	
	日本の自然環境と防災	火山・地震災害と防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の地形や気候の特徴と自然災害を結びつけて考える。</li> </ul>	
3	地球的課題と私たち	世界の資源・エネルギー問題 世界の人口問題 世界の食料問題 世界の都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の資源の偏在を正しく認識することができる。</li> <li>・ 南北間の経済格差を捉え、その解決策を考えることができる。</li> </ul>	
	近隣諸国が取り組む課題と日本の役割	世界の環境問題 森林破壊・大気汚染への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界的な広い視野で環境問題などさまざまな問題を考えることができる。</li> </ul>	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理B	普通科・ 2年	4	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料 2020 (東京法令出版) 新地理要点ノート (啓隆社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地表面上のさまざまな地形の特色を理解し、人々の生活にどのような影響を与えているかを考察する。</li> <li>・ 人々の生活が気候と密接に関連していることを、ケッペンの気候区分を通して考察する。</li> <li>・ 世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を理解し、諸地域で起きている食糧問題を考察する。</li> <li>・ 世界の主なエネルギー・鉱山資源や工業地域の特徴を理解する。</li> <li>・ 世界の諸地域に住む人々の生活様式には、いろいろな要因・形態があることを考察する。</li> <li>・ 世界の諸地域を調査する手順・方法について理解する。</li> </ul>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	さまざまな地図と地理的 技能  自然環境と生活	地図の種類とその利用  世界の大地形と小地形 世界の地形 世界の気候 日本の自然の特徴と 人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代世界の地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて考察する。</li> <li>・ 陸地がどのような過程で形成されたかを理解し、さまざまな地形と人々の生活との関係について具体的に考えることができる。</li> <li>・ 世界の気候分布と、そこに暮らしている人々の生活の違いを資料・図・写真や作業を通して考えることができる。</li> <li>・ 世界と日本の自然環境や生活の違いを理解できる。</li> </ul>	
2	資源と産業	産業の発達と変化 世界の農林水産業 食料問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種産業は地形や気候と関連して展開されていることがわかる。</li> <li>・ 農業形態の地域分化を理解し、農産物の生産地や流通状況を把握することができる。</li> <li>・ 世界の農業における問題や自給率の少ない日本の現状を理解できる。</li> <li>・ 水産業や林業の発達条件や水産物、木材の流通について考えることができる。</li> </ul>	
	世界のエネルギー・鉱産 資源	エネルギー資源の利 用と分布  鉱産資源の分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球上の資源の分布とエネルギー資源の使用状況について理解できる。</li> <li>・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考察することができる。</li> </ul>	
3	資源・エネルギー問題	現代世界の資源・エネ ルギー問題 日本の資源・エネルギ ー問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉱産資源やエネルギー資源の使用状況を踏まえ、先進国が世界に与える影響を考察することができる。</li> </ul>	
	世界の工業	工業の発達と立地 世界の工業地域 現代世界の工業の現 状と課題 日本の工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考え、工業地域の変容について理解することができる。</li> <li>・ 大国の工業の変容と発展途上国の工業化の経緯を理解することができる。</li> </ul>	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理B	普通科 3年	3	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料 COMPLETE (帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習 (東京法令出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の発達による工業の変遷と、工業化に伴う経済発達による地域格差を理解する。</li> <li>都市と村落の立地条件や機能などを理解し、都市化に伴い発生する都市問題を考察する。</li> <li>世界の諸地域の特色を、それぞれの地域に住む人々の生活と関連させて理解するとともに、世界の地域や国々がどのように結びついているかを考察する。</li> <li>国際社会における日本の役割について考察する。</li> </ul>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	人口、村落・都市 世界の人口 人口問題 村落と都市	世界の人口問題 発展途上国・先進国・ 日本の人口問題 集落の成り立ち 村落の形態と機能 都市の機能と生活	・村落と都市の立地条件や機能、諸問題に関して、先進国と発展途上国では違いがあることを理解することができる。	
	都市・居住問題 生活文化、民族・宗教 資源と産業 世界の工業	世界の都市・居住問題 民族・宗教、領土問題 第3次産業 交通・通信 貿易と経済圏	・グローバル化と格差をキーワードに、現代世界の第三次産業、交通・通信、貿易の動向について理解することができる。	
2	現代世界の諸地域 東アジア	地誌の考察方法 中国の農業、工業化と 経済発展	・どのような観点から地域区分が行われているかを具体的に考察することができる。 地誌的に捉えながら、2年間の学習のまとめとする。	
	東南アジア 南アジア 西アジア アフリカ ヨーロッパ	ASEAN 諸国 インドの農業、工業・ IT産業 イスラム文化 一次産品への依存 ヨーロッパの農業・工 業、EU成立	・諸地域の歴史的変遷を見落とさず考察することができる。 ・さまざまな地域が発展する要因を他国との関係から具体的に考察することができる。 ・各国の発展の取り組みは、他国とどのような協力体制が成り立っているかを具体的に考察することができる。	
3	ロシア アングロアメリカ  ラテンアメリカ オセアニア  現代世界と日本	ロシア産業の変化 アメリカの農業、科学 技術と産業 世界の中のアメリカ 鉱産資源と工業化 アジア諸国との結び つき	わが国日本の国際貢献を、広い視野に立って具体的に考察することができる。	